

## 2019 年度人間・植物関係学会 学会賞（大賞）受賞者が決定しました

2019 年度人間・植物関係学会 学会賞（大賞）受賞者と業績概要の紹介

なお、授賞式は、人間・植物関係学会，日本園芸療法学会合同国際シンポジウム・2019 年大会会期中の 12 月 8 日（日）に予定されています。

受賞者：Paula Diane RELF 博士（米国 バージニア工科大学名誉教授）

受賞題目：人間・植物関係学の開拓と発展に関して国際的に貢献するとともに、とくに日本における当該分野の確立と本学会の発足・発展に寄与した功績

業績概要：Relf 博士は、メルウッド園芸トレーニングセンター所長を経て、アメリカ園芸療法協会では事務局長として活躍し、バージニア工科・州立大学に転じた後は、人間・植物関係分野の開拓・確立に尽力し、国際的にその啓発・普及ならびに発展に尽力してきた希有な人物である。その業績は、教育・文化、社会的効果、経済的効果、心身への効果、環境的効果などあらゆる人間活動と植物との関係に及ぶ。これらを通して、植物が人間生活にいかにより大きな役割を果たしているかを示し、植物とのかかわりの研究と応用の重要性を訴えてきた。

Relf 博士の活動は、日本における人間・植物関係の研究や園芸療法の定着・発展にきわめて大きな影響を与えた。すなわち、1990 年代から 2000 年代にかけて数回来日し、日本各地で講演、シンポジウム、コロキウムなどを通して、人間・植物関係領域への関心を高め、研究・教育を推進することの重要性を訴えるとともに、同氏の職場を訪ねる日本人を快く受け入れ、交流を進めた。また、本学会の発足とその後の発展にあたっては、学会設立準備会発足記念シンポジウムや国際人間・植物シンポジウムでの講演、学会運営への助言など多大なる支援をいただいた。